

Grammar Plus

<15 Unit Edition>

『グラマー・プラス』<15ユニット編>

Andrew E. Bennett
Toru Komiya



NAN'UN - DO

Grammar Plus

<15 Unit Edition>

Copyright©2016

Andrew E. Bennett
Toru Komiya

All Rights Reserved

*No part of this book may be reproduced in any form without written permission
from the authors and Nan'un-do Co., Ltd.*

Grammar Plus Image Credits

*All photographs © Shutterstock.com except:
p.24 (high jumper) © sportgraphic/Shutterstock.com*

Illustrations: Irene Fu

はじめに

本書『Grammar Plus <15 Unit Edition>』は、英文法を基礎から体系的に学べることでご好評をいただいている『Grammar Plus』の姉妹編です。取り扱う文法事項を、英語の資格・検定試験でよく出題されるような重要なものだけに絞り込み 15 ユニット構成とすることで、半期の授業に利用したり他の教材と併用したりするなど、より柔軟にご活用いただけます。

ただし、中心となるコンセプトはどちらも同じです。英語で情報を受け取る場合（リーディングとリスニング）にも、情報を発信する場合（スピーキングとライティング）にも、文法が非常に強力な知識＝道具となってくれます。英語の文の基本的な構成要素と文法構造についてのしっかりした知識は、仕事や旅行、ネイティブスピーカーとの会話などで英語を使う場合に必要となるスキルと自信を学生に与えてくれるでしょう。本書の目的も、英語文法について実用的で、コミュニケーション本位の、そして多角的な学習を行うことにあります。



先生方と学生の皆さんには、この『Grammar Plus <15 Unit Edition>』が、英文法の知識を定着させながら「聞く・話す・書く・読む」という英語の 4 技能を楽しく学べる教材だと感じていただけたら幸いです。

なお、本書『Grammar Plus <15 Unit Edition>』の刊行にあたって共著者としてご協力いただいた小宮徹氏に感謝いたします。また、本書の構想段階から編集作業にいたるまで多大のご尽力をいただいた加藤敦氏、丸小雅臣氏、そして株式会社南雲堂の方々に深く感謝をしたいと思います。

アンドルー E. ベネット

ユニットの構成

1 ページ目

文法のポイントを学習するときには、最初に文構造の基本パターンを学ぶことが役立ちます。したがって、本書では、各ユニットの最初のページで、この基礎知識を提供しています。各ユニットは、そのユニットで学ぶ文法のポイントが、「現実の世界」では実際にどのような場面で使われるのかを具体的に表す3枚の写真からなる **Warm-up** コーナーで始まります。それぞれの写真の下にある英文は、その音声が本書の付属CDに収録されています。対応するトラック番号は、学生用CDの場合はCDアイコンの下に、教師用CDの場合はスピーカーアイコンの下に表示しています。ユニットの学習の冒頭で教師がCDを再生し、学生がこれから学習する内容をおおまかにつかめるようにしてください。

各ユニットで学習する文法構造は、いくつかのパターンごとにまとめられています。このパターン化によって、わかりやすく焦点を絞った学習が可能になります。たとえば、**UNIT 1 (現在時制)** では、現在時制が表す3つの意味を示しています：① 反復する動作や日常の習慣を表す、② 一般的な真理や事実を述べる、③ 感情、知覚、所有などを表現する。それぞれのカテゴリーには、いくつかの例文が添えられています。いずれの例文も、教師用・学生用CDに収録されています。このあとには、文法のポイントや用法の説明が続きます。このページの最後には、学習する文法についての追加情報を提供している巻末の **Reference Pages** のページ番号が示されています。この追加情報のページには、表やリストなどの形式で、学生がさらに理解を深めるための情報を掲載しています。

2 ページ目

Grammar Exercises と題されたユニットの2ページ目には、3つの演習が含まれています。空欄補充問題、正誤（選択）問題、動詞の活用問題、誤文訂正問題などさまざまな種類の設問が用意されています。こうした演習問題を通し、ユニットで学ぶ文法項目の知識を確認し、その知識を自分で使うことに自信をつけ、さらに論理的な判断力を高めます。

3 ページ目

Listening、Speaking、Writing という 3 つのスキル別の演習が掲載されているこのページでは、英語の実用的かつ日常的な運用能力を養成します。

Listening 最初に取り組むのはリスニングの課題です。録音音声は教師用・学生用 CD に収録され、対応するトラック番号は、指示文のあとに表示しています。学生は、1、2、3 …と番号が振られた数枚のイラストを見ながら英文を聞きます。読み上げられる英文は、それぞれ A、B、C …と記号が付けられているので、その英文が正しく描写しているイラストの下にその記号を書き込みます。

Speaking 次はスピーキングの練習です。2 人が行う会話文に 5 つの空欄が設けられています。学生は、与えられた語（句）のリストから、それぞれの空欄に適切なものを当てはめます。ただし、1 つの語（句）は 1 回しか使えません。この演習によって、そのユニットで学ぶ文法のポイントが、自然な日常会話の中でどのように使われているのか確認することができます。教室でのアクティビティーとして、学生のペアにユニットで学んだ文法の知識を使って会話文を作らせ、それを発表させたりしてもよいでしょう。

Writing このページの最後の演習は作文です。本書の全 15 ユニットのうち 6 つのユニットは、文と文の組み合わせ、文の書き換えなどの問題になっています。残りの 9 つは、語句の並べ替え問題となっています。問題文のいくつかは、ヒントとして文頭の単語をいくつか示し、学習者が取り組みやすいようにしてあります。

4 ページ目

各ユニットの最後のページは **Reading** です。

Reading ここでは、ユニットで学んだ文法のポイントを盛り込んだ興味深い読み物（物語やエッセイ）を学習者に提供しています。それぞれの文章には、正誤（選択）問題、動詞の活用問題、並べ替え問題などの演習が含まれています。文章の下には、読解の助けとなるように、重要語句の意味や追加情報を記載した語注が付けられています。この文章の音声は、教師用 CD にのみ収録されています。学生が演習を終えたあとで、その音声を聞かせるとよいでしょう。そうすることで、学生は正解を確認するだけでなく、リスニングとリーディングの力を同時に養うことができます。そして最後には、文章の理解度を確認するための正誤（選択）問題が用意されています。

CONTENTS

1. 現在時制	8
(Simple Present Tense)	
2. 過去時制	12
(Simple Past Tense)	
3. 代名詞	16
(Pronouns)	
4. 進行形	20
(Progressive Form)	
5. 助動詞	24
(Modals)	
6. 未来時制	28
(Simple Future Tense)	
7. 疑問文と付加疑問文	32
(Question Words and Tag Questions)	
8. 比較	36
(Comparatives)	

9. 不定詞	40
(Infinitives)	
10. 動名詞	44
(Gerunds)	
11. 受動態	48
(Passive Voice)	
12. 形容詞節	52
(Adjective Clauses)	
13. 副詞節	56
(Adverb Clauses)	
14. 名詞節	60
(Noun Clauses)	
15. 現在完了形	64
(Present Perfect)	
文法事項の追加説明	68
(Reference Pages)	

1

現在時制 Simple Present Tense

W
A
R
M
U
P

2



2

1. He **exercises** every day.2. **There are** five kittens in the box.3. She **doesn't know** the answer.

A 反復する動作や日常の習慣を表す Repeated Actions and Habits

1. I **take** the train to school every day.
2. Yoshihiko **doesn't live** here anymore.
3. **Does** she always **eat** lunch at 12:30?

毎日の通勤や通学などの反復する動作や日常の習慣などを言い表す場合には、動詞の現在形が使われる。その場合、every day、anymore、always、sometimes、rarely、never などの頻度を表す副詞とともに使われることが多い。一般動詞の否定文は、do not (don't) または does not (doesn't) を動詞の前に置き、疑問文は do または does を文頭に置いて作る。

B 一般的な真理や事実を述べる Truths

1. There **are** 24 hours in a day.
2. He **doesn't play** the guitar.
3. **Does** the camera **need** four batteries?

不変の自然現象や科学的な真理、日常生活の中の客観的な事実を言い表す場合に、動詞の現在形が使われる。

C 感情、知覚、所有を表現する Feelings, Perceptions, and Possession

1. I **feel** great!
2. She **doesn't like** pizza.
3. **Do** you **own** a green car?

1. feel や like、hate などの動詞で人が現在経験している感覚や感情を表現する場合、2. have や own などの動詞で現在なにかを「持っている」という場合、3. believe、cost、know などの動詞で現在の状態を表す場合、現在形が使われる。

※現在時制に関する追加情報は、p. 68 を参照

Grammar Exercises

1 次の文のあとに続く表現の記号を空欄に書き入れなさい。

1. Every day, I _____ (A) makes four cups.
2. The coffee machine _____ (B) watch movies here?
3. These cookies _____ (C) wake up at 7:45.
4. Do you often _____ (D) taste delicious!

2 () 内に示された指示に従って、次の文を書き換えなさい。

[例] She plays the piano every day. (疑問文に)

→ Does she play the piano every day?

1. Are there a lot of people in the club? (肯定文に)

2. Phil hates chocolate. (否定文に)

3. The store is open 24 hours. (疑問文に)

4. Aster doesn't work at the airport. (肯定文に)

3 次の会話文の空欄に適切な語を入れなさい。

1. A: _____ you always take the bus to work?

B: On Mondays, I ride my bike. On other days, I _____ the bus.

2. A: I love this hat. _____ it come in other sizes?

B: No, there _____ just one size. You can adjust it in the back.

3. A: How do you _____?

B: I feel much better, thank you.

Listening

3つの文 (A, B, C) を聞き、それぞれの内容と一致しているイラストの下にその記号を書きなさい。



1. _____



2. _____



3. _____

Speaking

次の会話文を読み、以下のリストから適切な単語を選んで空欄を埋めなさい。

there's have doesn't don't do

Peter: Excuse me. Is Catherine here?

Staff: I'm afraid not. She ₁() work here anymore.

Peter: Oh, that's too bad. I really need to talk to her. ₂() you have her phone number?

Staff: I'm sorry, we ₃() give out personal information. But please leave your number. I can give her the message.

Peter: Thanks so much. Do you ₄() a pen?

Staff: Sure, ₅() one in the cup over there.

Writing

()内の単語を並べ替え、正しい文を作りなさい。

1. My (every / father / orange juice / day / drinks).

2. Madoka (like / loud / doesn't / music).

Reading

1 次の英文を読み、()内の正しいほうの単語を選びなさい。



Many people ¹(want / wants) simple lives. But that isn't always easy. Sometimes work or school makes things challenging. Take Mayumi, for instance. She lives with her husband, Takashi, in Nagoya. But her company is in Tokyo. So, from Monday to Friday, she stays in Tokyo. Every weekend, she ²(return / returns) to Nagoya.

It's hard and tiring. Mayumi ³(doesn't / don't) see her husband often enough. During the week, she ⁴(miss / misses) him. But it's a good job. Plus, as the saying goes, "There's light at the end of the tunnel." Takashi's company ⁵(has / have) a branch in Tokyo. He may transfer there soon. Then the couple can move to Tokyo and be together every day.

NOTES **challenging** 「困難な、大変な」 **for instance** 「たとえば」 **tiring** 「疲れる」 **saying** 「ことわざ」
go 「(言葉が)…となっている」 **branch** 「支店、支社」 **transfer** 「転勤する」

2 次の質問に対する正しい答えを選びなさい。

- On which of these days is Mayumi in Nagoya?
 (A) Monday (B) Wednesday (C) Sunday
- What does the story say about the couple?
 (A) They work at the same company.
 (B) Both were born in Nagoya.
 (C) Their situation may improve.
- Who may start working in Tokyo soon?
 (A) Mayumi (B) Takashi (C) Both of them